

第 131 回 (2024 年 4 月度) 監査技術ゼミ 結果報告

運営委員長 豊島 秀一
(文責：松下 洋二)

1. 開催日時 2024 年 4 月 8 日(月) 午後 2 時 00 分～午後 5 時 00 分
2. 開催方法・場所 会場 (文京シビックセンター3 階会議室②)・オンライン (ZOOM) 併用方式
講師は会場より解説
司会 (委員長) は会場で進行
委員は会場で会議サポート
3. テーマ 情報リスクマネジメント
4. 講師 (株)JP リサーチ&コンサルティング
代表取締役 古野 啓介氏
執行役員 光岡 邦彦氏
執行役員 黒田 長幹氏
5. 出席者 75 名 (会場参加 14 名、オンライン参加 61 名)
6. 配布資料 (事前に委員長から参加申込者に対してメールでオンライン参加案内とともに添付ファイルを送付)
『情報リスクマネジメントについて』(株)JP リサーチ&コンサルティング

7. 議事次第

1) 運営委員長より開会の挨拶

豊島運営委員長よりオンライン参加者の ZOOM 接続状況を確認したのち、開会挨拶、監査技術ゼミの趣旨説明および本日のテーマ紹介を行い、講師の古野 啓介氏、光岡 邦彦氏、黒田 長幹氏を紹介された。

なお出席者の内、当委員会への初参加者は以下の通り。

(株)ケア21	監査役	奥田 隆司氏 (オンライン参加)
メルテックビジネス(株)	監査役	筑前 賢一氏 (オンライン参加)
(株)ストライク	取締役監査等委員	加藤 知子氏 (オンライン参加)
DIC(株)	常勤監査役	北村 俊伸氏 (オンライン参加)
スパイダープラス(株)	常勤社外監査役	古賀 博之氏 (オンライン参加)
ケネディクス(株)	監査役	田島 正彦氏 (オンライン参加)
(株)アイプラネット	監査役	横山 秀利氏 (オンライン参加)

2) 講義

午後 2 時 7 分より、光岡講師により第 1 部「リスク対応の重要性」について資料に沿って解説が行われ、引き続き 2 時 36 分より、黒田講師により第 2 部「企業を取り巻くリスク環境」について同じく資料に沿って 3 時 15 分まで解説が行われた。10 分間の休憩をはさみ、3 時 25 分から、古野講師が、第 3 部「情報リスクマネジメント」について、あらかじめ資料で用意された 3 つのケーススタディに従って、出席会員会友とディ

スカッションを行い、4時51分に終了した。

3) 質疑応答および意見交換等

出席会員会友とのディスカッションのテーマおよび主な論点は以下の通り。

① サイバー攻撃によるインシデント攻撃

- ・ 社長が監査役を含めた役員幹部を緊急招集した場で、どのような初動の経営判断を行うべきか（復旧コストを度外視すべきか否か、操業継続の是非、身代金要求への対応、取引先報告の時期、警察・関係個所への通報）

② 海外子会社（M&A）のガバナンス不全による情報漏洩

- ・ 内部監査を任命された監査チームへ監査役はどのようなアドバイスを送るべきか（事業特性を鑑みた調査の観点や方法）

③ 退職者による情報漏洩（社内不正）

- ・ 調査委員会に加わった常勤監査役としてどのような視点と知識を持つべきか（個人情報にあたるか否か、委員会を設置したことの公表の是非、デジタルフォレンジックの有効性、刑事告訴の是非）
- ・ このような事態を発生させないために、常勤監査役としてすべきこと等

4) 委員長より閉会の挨拶

質疑応答および意見交換の後、豊島運営委員長が全講師に感謝の意を表され、参加者に対しアンケートへの協力要請（後日メールで発信）を行うとともに、次回の監査技術ゼミは5月30日（木）に開催予定の旨案内した後、午後4時54分に閉会となった。

以上